

明石 照久 (あかし てるひさ)

1951年生。1974年神戸大学法学部卒業、同年神戸市役所入所、現在に至る。主にまちづくり関連業務、91年神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程(経営学専攻)修了。現在(財)神戸市都市整備公社こうべまちづくりセンター調査係長。

熱海 郁三 (あつみ いくぞう)

1945年生。1969年東京工業大学理工学部土木工学科卒業、現在、(株)ハオ技術コンサルタント事務所代表。

安藤 元夫 (あんどう もとお)

1943年生。1968年京都大学工学部建築学科卒業、76年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程単位取得退学。工学博士。現在、近畿大学理工学部建築学科教授。専攻：都市計画(既成市街地整備・まちづくり)。主な著書：『都市計画と中小零細工業－住工混合地域の研究』(共著、新評論、1978)、『住民主体への挑戦－被災地須磨のまちづくり』(共著、エピック、1997)、『地域共生のまちづくり』(共著、学芸出版社、1998)

石川 幹子 (いしかわ みきこ)

1948年生。1972年東京大学農学部緑地学研究室卒業、76年ハーバード大学デザイン学部大学院修了、94年東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。農学博士。現在、工学院大学建築学科環境デザイン教授。専攻：緑地計画、環境デザイン。主な著書：『緑地環境科学』(共著、朝倉書店、1997)、『ランドスケープ体系第1巻：ランドスケープの展開』(共著、技報堂出版、1996)

和泉 潤 (いずみ じゆん)

1947年生。1971年東京工業大学理工学部社会工学科卒業、76年東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻博士課程単位取得退学。現在、朝日大学経営学部教授。専攻：都市システム分析。主な著書：『Challenge of the IDNDR』(共著、UNCRD、1990)、『21世紀の中部圏』(共著、中日新聞本社、1995)、『情報社会の光と影』(共編著、成文堂、1997)

糸井川 栄一 (いといがわ えいいち)

1956年生。東京工業大学大学院総合理工学研究科社会開発工学専攻修士課程修了。工学博士。現職、建設省建築研究所第六研究部都市防災情報研究室長。筑波大学大学院社会工学研究科教授(併任)。専攻：都市防災計画。主な著書：『最新建設防災ハンドブック』(共著、建設産業調査会、1983)、『1994ロサンゼルス近郊地震(ノースリッジ地震)の記録』(共著、国土庁防災局、ぎょうせい、1994)、『火災便覧 第3版』(共著、日本火災学会、共立出版、1997)、『都市研究叢書15 大都市と直下の地震－阪神・淡路大震災の教訓と東京の直下の地震－』(共著、東京都立大学都市研究所、1998)

岩田 俊二 (いわた しゆんじ)

1949年生。1971年工学院大学工学部建築学科卒業、73年工学院大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。工学博士。現在、工学院大学工学部建築学科客員研究員。専攻：農村計画、集落計画。主な著書：『農村土地利用計画論』(共著、農林統計協会、1993)『集落拡大と集落基盤整備計画』(農林統計協会、1995)、『彩適空間への道』(共著、農林統計協会、1998)

内田 敬 (うちだ たかし)

1963年生。1986年京都大学工学部交通土木工学科卒業、88年京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修士課程修了。工学博士。現在、東北大学大学院工学研究科助教授。専攻：交通工学、都市計画。主な著書：『交通工学』(共著、国民科学社、1992)

内田 雄造 (うちだ ゆうぞう)

1942年生。1965年東京大学工学部建築学科卒業、70年東京大学工学系大学院建築学専攻博士課程単位取得退学。工学博士。現在、東洋大学工学部建築学科教授。専攻：まちづくり、ハウジング。主な著書：『同和地区の環境整備計画・事業に関する研究』(明石書店、1992)『アジア地域におけるまちづくりに関する研究』(編著、国際東アジア研究センター、1997)

延藤 安弘 (えんどう やすひろ)

1940年生。1964年北海道大学建築工学科卒業、1966年京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。工学博士。現在、千葉大学工学部都市環境システム学科教授。専攻：生活空間計画。真野地区まちづくり、ユーコートやMポート等コーポラティブ住宅づくりにかかわる。主な著書：『まちづくり読本－こんな町に住みたいナ』(晶文社、1990)、『これからの集合住宅づくり』(共著、晶文社、1995)

大方 潤一郎 (おおかた じゆんいちろう)

1954年生。1977年東京大学工学部都市工学科卒、82年同博士課程修了。同学科助手、横浜国立大学助教授を経て、現在、東京大学工学部都市工学科助教授。専攻：都市計画。主な著書：『協議型まちづくり』(学芸出版社、1994)

大西 隆 (おおにし たかし)

1975年東京大学都市工学科卒業、80年同大学院博士課程都市工学専攻修了、工学博士。現在東京大学先端科学技術研究センター教授、国連大学高等研究所兼任教授。専攻：国土計画、都市計画、IFF委員長、ULI日本委員長。主な著作：「テレコミュニケーションが都市を変える」(日経新聞、1991)、「都市交通のバースペクティブ」(鹿島出版会、1994)、「地域政策の新展開」(地域開発センター、1998)

角本 繁 (かくもと しげる)

1947年生。1970年大阪大学理学部生物学科卒、72年大阪大学基礎工学部制御工学科卒。現在、(株)日立製作所中央研究所技術主幹、京都大学防災研究所総合防災研究部門非常勤・中国科学院リモートセンシングセンター客員教授併任。専攻：地理・災害・環境情報処理、画像・図形・空間情報処理。主な著書：『コンピュータマッピング』(共著、昭晃堂、1992)『統計情報と空間情報処理』(共著、統計情報研究開発センター、1998)

岸井 隆幸 (きしい たかゆき)

1953年生。1975年東京大学工学部都市工学科卒業、77年同大学院都市工学専攻修士課程修了。工学博士。現在、日本大学理工学部土木工学科教授。専攻：都市計画。主な著書：『都市開発－その理論と実際－』(共著、ぎょうせい、1990)、『市街地の面的整備』(共著、全日本建設技術協会、1991)、『都市交通計画』(共著、技報堂出版、1993)、『都市計画』(共著、コロナ社、1998)

岸田 比呂志 (きしだ ひろし)

1945年生。1967年早稲田大学理工学部建築学科卒業、東京大学大学院都市工学専攻修士課程単位取得退学。1969年横浜市に入る。土地利用の計画調整、ニュータウン建設事業、都市デザイン等を担当。一級建築士、技術士(建設部門)。現職：横浜市都市計画局担当部長兼都市デザイン室長。専攻：都市計画。主な著書：『横浜＝都市計画の実践的手法―その都市づくりのあゆみ』(共著、鹿島出版会、1980)

熊谷 良雄 (くまがい よしお)

1944年生。1967年東京工業大学理工学部建築学科卒業、72年東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻修了。工学博士。現在、筑波大学教授(社会工学系)。専攻：都市防災計画、都市安全管理。主な著書：『環境科学Ⅱ―人間社会系』(共著、朝倉書店、1989)、『阪神淡路大震災・都市の再生―報告・提言・資料―』(共著、日本都市計画学会、1995)、『火災便覧 第3版』(共著、共立出版、1997)

小泉 秀樹 (こいずみ ひでき)

1964年生。1987年東京理科大学工学部建築学科卒業、92年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程単位取得退学。博士(工学)。現在、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻講師。専攻：都市計画(まちづくり・土地利用計画)。主な著書：『かわる住宅・まちづくり』(共著、住総研、1996)

小出 和郎 (こいで かずお)

1946年生。1971年東京大学都市工学科卒業。80年同大学院研究科都市工学専攻修士課程修了。1972年より(株)都市環境研究所に勤務、現在、都市環境研究所代表。東京大学都市工学科及び長岡造形大学環境デザイン学科非常勤講師。都市計画コンサルタントとして、都市計画に従事。主な著書：『アーバンデザインの現代的展望』(共著、鹿島出版会、1993)、『今井の町並み』(共著、同朋舎出版、1994)、『協議型まちづくり』(共著、学芸出版社、1994)

越澤 明 (こしざわ あきら)

1952年生。1976年東京大学工学部都市工学科卒業、82年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。現在、北海道大学大学院工学研究科都市環境工学専攻教授。都市計画中央審議会専門委員。専攻：都市計画。主な著書：『東京の都市計画』(岩波新書)、『東京都市計画物語』(日本経済評論社)、『満州国の首都計画』(日本経済評論社)。日本都市計画学会石川賞、土木学会賞、アジア経済研究所奨励賞、日本不動産学会賞、日本造園修景協会賞を受賞。

児玉 善郎 (こたま よしろう)

1959年生。1983年神戸大学工学部環境計画学科卒業、85年神戸大学大学院工学研究科環境計画学専攻修了。工学博士。現在、産業技術短期大学助教授。専攻：住宅政策、都市計画。主な著書：『住まいの論理』(共編著、嵯峨野書院、1995)、『都市と高齢者―高齢社会とまちづくり』(共著、大成出版社、1994)、『高齢者の住まいと交通』(共著、日本評論社、1993)

後藤 祐介 (ごとう ゆうすけ)

1943年生。1965年大阪市立大学工学部建築学科卒業、71年大阪市立大学大学院工学研究科都市計画専攻博士課程単位取得退学。現在、(株)ジーユー計画研究所所長。大阪芸術大学建築学科非常勤講師、神戸大学工学部非常勤講師。専攻：都市計画(市街地整備・まちづくり)。主な著書『都市環境デザイン』(共著、学芸出版社、1995)

小林 郁雄 (こばやし いくお)

1944年生。1967年神戸大学卒業、69年大阪市立大学大学院修士課程

修了。まちづくり株式会社コー・プラン代表。現在、神戸大学工学部講師(非常勤)、阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク世話人。専攻：地域計画、市街地整備、住民主体のまちづくり。主な著書：『震災復興が教えるまちづくりの将来』(編集、学芸出版社、1998)、『きんもくせい』(支援ニュース発行、1995～1997)『復興市民まちづくり vol.1～8』(編集、学芸出版社、1995～1997)

小林 重敬 (こばやし しげのり)

1942年東京生。東京大学工学部都市工学科卒業、同大学院工学研究科都市工学専攻博士課程修了。工学博士。現在、横浜国立大学工学部建設学科教授。専攻：都市計画学、住宅政策。近年の主な著書：『地球環境と巨大都市』(分担、岩波講座 地球環境学 第8巻、1998)、『都市と法』(分担、岩波講座 現代の法 第9巻、1997)、『協議型まちづくり』(編著、学芸出版社、1994)、『都市と土地の理論』(共著、ぎょうせい、1992)

小林 英嗣 (こばやし ひでつぐ)

1946年札幌生。北海道大学大学院修了。現在北海道大学大学院都市環境計画学講座教授(兼建築都市学科教授)。北海道都市計画地方審議会副会長。専攻：都市計画、都市設計。主な著書：『日本の都市再開発史』(全国市街地再開発協会編、1991)、『積雪寒冷型アトリウムの計画と設計』(北大図書刊行会、1995)など。作品に「北海道立帯広美術館」(北海道建築賞受賞、1992)がある。

小森 星児 (こもり せいじ)

1935年東京生。成蹊高、京大文学部を経て同大学博士課程(地理学)修了、74年神戸商科大学教授。レディング大学、ロンドン大学に留学。県立姫路短大学長、大阪商大大学院地域政策学研究科教授を経て98年神戸山手学園理事長、99年神戸山手大学学長に就任。専攻：都市政策、環境文化学。震災後、神戸復興塾塾長、県外避難者支援ネット代表世話人、マンション再建組合理事長などに従事。

斎藤 浩 (さいとう ひろし)

1945年生、京大法学部卒業。弁護士。淀屋橋総合法律事務所所長。雑誌『おおさかの街』主筆。「阪神・淡路まちづくり支援機構」運営委員。日弁連司法改革推進センター事務局次長。主な著書：『自治体行政って何だ!』(労働旬報社、1991)、『行政手続法って何だ!』(大阪自治体問題研究所刊、1994)、『たのしくわかる日本国憲法～身近な地方自治』(岩崎書店、1996)、『街が消える!～いま地上げと闘う』(編著、都市文化社、1987)

斎藤 庸平 (さいとう ようへい)

1951年生。1978年千葉大学園芸学部造園学科卒業、1992年千葉大学大学院自然科学研究科環境科学専攻後期博士課程修了。博士(学術)。現在、(財)都市緑化技術開発機構主任研究員。専攻：緑地計画(防災緑地)。主な著書：『造園の辞典』(共著、朝倉書店、1995)、『市民ランドスケープの創造』(公害対策技術同友会、1996)、『火災便覧第三版』(共著、共立出版、1997)

佐藤 滋 (さとう しげる)

1949年生。1973年早稲田大学建築学科卒業。現在、早稲田大学理工学部建築学科教授。工学博士。都市計画家。主な著書：『住み続けるための新まちづくり手法』(共著、鹿島出版会、1995)、『現代に生きるまち―東京のまちの過去・未来を読み取る』(彰国社、1990)、『集合住宅団地の変遷―東京の公共住宅とまちづくり』(鹿島出版会、1989)、『同潤会のアパートメントとその時代』(共著、鹿島出版会、1998)、『城下町の近代都市づくり』(鹿島出版会、1995)

佐土原 聡 (さどはら さとる)

1958年生。1980年早稲田大学理工学部建築学科卒業、85年早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻博士課程単位取得退学。工学博士。現在、横浜国立大学助教授。専攻：都市環境（都市インフラ計画）、都市防災。主な著書：『地方自治体のための震災復旧マニュアル』（監訳、横浜市企画局、1996）、『空調調和衛生便覧』（共著、空調調和衛生工学会、1994）

塩崎 賢明 (しおざき よしみつ)

1947年生。1977年京都大学大学院博士課程修了。神戸大学工学部助教授。工学博士。専攻：都市計画・住宅政策。著書：『コミュニティ・アーキテクチャ』（都市文化社）、『日本列島の地震防災』（大月書店、1995）、『大震災と人間復興』（青木書店、1996）、『阪神・淡路大震災の復興都市計画事業における「2段階都市計画決定方式」の評価に関する研究』（日本都市計画学会学術研究論文集33号、1998）

鈴木 隆雄 (すずき たかお)

1949年生。横浜国立大学建築学科卒、東京大学大学院修了。工学修士。(株)マヌ都市建築研究所取締役。専攻：都市計画・建築計画・防災計画。『防災まちづくりハンドブック』（共著、ぎょうせい、1988）

鈴木 徹 (すずき とおる)

1964年生。1986年東京大学工学部都市工学科卒業。1987年建設省入省後、建設省住宅局、都市局勤務を経て、現在、国土庁大都市圏整備局首都機能移転企画課課長補佐。

関沢 愛 (せきざわ あい)

1948年生。1972年京都大学工学部建築学科卒業、74年京都大学大学院工学研究科修士課程（建築学専攻）修了。工学博士。1992年日本火災学会賞受賞。現在、自治省消防庁消防研究所情報処理研究室長。専攻：建築、都市防災関係（住宅防火、地震時における消防力の効果的運用など）。主な著書：『新版 建築防火』（共著、朝倉書店、1994）

高梨 成子 (たかなし なるこ)

1950年生。1974年東京女子大学文理学部社会学科卒、94年東京大学大学院社会学研究科修士課程修了。現在、(株)防災&情報研究所代表。専攻：社会学、防災社会学、コミュニケーション論。主な共著：『災害対策及び防災体制の国際比較に関する調査研究』（セコム科学技術財団、1988）、『民間防災組織の国際比較に関する調査研究—先進諸国の防災ボランティア』（セコム科学技術財団、1993）

高橋 太 (たかはし とおる)

1941年生。1975年東北大学大学院理学研究科化学専攻博士課程修了、同理学博士學位取得。78年東京消防庁入庁。現在、東京消防庁参事兼防災課長事務取扱。専攻：化学。主な論文：「ガスの地中拡散による爆発火災」『安全工学』No.21、No.4、1982。「火災による死因の生理学的検討」『火災』1992、198号

高橋 洋二 (たかはし ようじ)

1943年生。1967年東京大学工学部都市工学科卒業。工学博士。現在、東京商船大学商船学部流通情報工学課程教授。専攻：都市計画、交通計画、物流政策。主な著書：『これからの駅前広場』（共著、(財)豊田都市交通研究所、1994）、『観光地域の交通需要マネージメント』（共著、地域科学研究会、1997）、『都市計画』（共著、コロナ社、1998）

高見沢 邦郎 (たかみざわ くにお)

1942年生。1966年東京都立大学建築工学科卒業、1968年同大学院修士課程修了。工学博士。現在、東京都立大学大学院教授。専攻：都市計画。受賞：日本都市計画学会論文奨励賞（1977年）、日本建築学会論文賞（1992）。主な著書：『新建築学体系19巻 市街地整備』（共著、彰国社、1984）、『居住環境整備の手法』（共著、彰国社、1988）、『阪神淡路・都市の再生』（共著、日本都市計画学会、1995）

高見沢 実 (たかみざわ みほる)

1958年生。1986年東京大学大学院博士課程（都市工学専攻）修了。現在、横浜国立大学工学部建設学科助教授。工学博士。専攻：都市計画。著書：『イギリスに学ぶ成熟社会のまちづくり』（学芸出版社、1998）

田代 順孝 (たしろ よりたか)

1945年生。1979年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。都市工学専攻、工学博士。現職、千葉大学園芸学部教授。専攻：緑地・環境学、環境デザイン学。主な著書：『緑と居住環境』（共著、古今書院、1984）、『市民ランドスケープの創造』（共著、公害対策技術研究会、1996）、『緑のパッチワーク（緑地の計画）』（技術書院、1998）

中井 検裕 (なかい のりひろ)

1958年生。1980年東京工業大学工学部社会学科卒業、86年東京工業大学大学院理工学研究科社会学専攻博士課程単位取得退学。工学博士。現在、東京工業大学大学院社会理工学研究科助教授。専攻：都市計画。主な著書：『不動産学概論』（共著、放送大学教育振興会、1993）、『協議型まちづくり』（共著、学芸出版社、1994）、『英国都市計画とマスタープラン』（共著、学芸出版社、1998）

中瀬 勲 (なかせ いさお)

1948年生。1970年大阪府立大学農学部卒業、72年大阪府立大学大学院農学専攻修士課程修了。農学博士。現在、姫路工業大学教授。兵庫県人と自然の博物館研究部長。専攻：緑地計画、環境計画。主な著書：『緑空間のユニバーサル・デザイン』（共著、学芸出版社、1998）他

中林 一樹 (なかばやし いつき)

1947年生。1970年福井大学建築学科卒業。75年東京都立大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程単位取得退学。工学博士。現在、東京都立大学都市研究所教授。専攻：都市計画、防災計画、都市地理学。主な著書：『大都市の土地問題と政策』（共著、日本評論社、1990）、『巨大都市と大東京圏』（共著、日本評論社、1990）、『イスラム都市の変容』（共著、古今書院、1994）、『都市の計画と防災』（共著、地域科学研究会、1996）『地方自治21世紀の構想』（共著、公職研、1998）

中村 正明 (なかむら まさあき)

1971年生。1994年東京大学工学部都市工学科卒業、97年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了。阪神・淡路大震災発生後、被災地の中を歩くうちに真野地区に遭遇する。以後、1年間真野地区に滞在し、地区の復興まちづくり活動に携わりながら地区や住民という立場からのまちづくりを勉強する。修士論文『修復型まちづくり論の再構築—被災地神戸・真野地区のまちづくりの実証的研究』（1997）

西田 幸夫 (にしだ ゆきお)

1951年生。1974年東京理科大学工学部建築学科卒業、76年東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。技術士。再開発ブラ

ンナー。現在、(株)熊谷組プロジェクト総合推進室部長。専攻：都市防災。主な著書：『地下都市—ジオフロントへの挑戦』(共著、清文社、1988)

西田 穰 (にしだ ゆたか)

1946年生。1969年東京大学工学部都市工学科卒業。現在、(株)地域計画研究所代表取締役。専攻：都市計画(既成市街地整備・地区計画)、地域計画、市民参加のまちづくり。主な著書：『災害に強いまちづくりと災害救助のあり方』(共著、全日本自治団体労働組合、1995)、『チャレンジ! 市民の手でまちづくり』(共著、東京Local Action NPO、1995)

濱田 甚三郎 (はまた じんざぶろう)

1945年生。1969年早稲田大学理工学部建築学科卒業、1971年同大学院建設工学科修士課程卒業。現在、(株)首都圏総合計画研究所代表取締役。専攻：都市計画(まちづくり、防災都市づくり)。主な著書：『防災まちづくりハンドブック』(共著、ぎょうせい、1988)、『都市デザインと空間演出』(共著、学陽書房、1989)『21世紀のくづくりを考える』(共著、TOTO出版、1991)

林 泰 義 (はやし やすよし)

1936年生。1961年東京大学工学部建築学科卒業、66年同大学院博士課程修了。現在、(株)計画技術研究所所長。千葉大学客員教授。専攻：都市計画、住民主体のまちづくり、欧米のNPO研究。受賞：日本都市計画学会石川賞(1998年)。主な著書：『真野まちづくりと震災からの復興』(共著、自治体研究社、1995)『NPO教書』『NPOとまちづくり』(ともに共著、風土社、1997)

日高 圭一郎 (ひだか けいいちろう)

1966年生。1989年九州大学工学部建築学科卒業、98年九州大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士(工学)。現在、(財)北九州都市協会研究部主任研究員。

平山 洋介 (ひらやま ようすけ)

1958年生。1981年神戸大学工学部卒業、88年同大学院修了。学術博士。現在、神戸大学発達科学部助教授。専攻：住宅・都市計画。主な著書：『コミュニティ・ベスト・ハウジング』(ドメス出版、1993)、*Housing and Family Wealth* (共著、Routledge、1995)、『講座現代居住1・歴史と思想』『同3・居住空間の再生』『同5・世界の居住運動』(共著、東大出版会、1996)、『欧米の住宅政策』(共著、ミネルヴァ書房、1999)、『講座社会学4・都市』(共著、東大出版会、1999)

広原 盛明 (ひろはら もりあき)

1938年生。1961年京都大学建築学科卒業、1965年京都大学大学院建築学専攻博士課程退学。工学博士。京都府立大学名誉教授。専攻：住宅・都市計画学。主な著書：『町内会の研究』(編著、御茶の水書房、1989)、『住環境を整備する』(共著、彰国社、1991)、『震災・神戸都市計画の検証』(自治体研究社、1996)、『住宅の近未来像』(共著、学芸出版社、1996)、『居住空間の再生』(共著、東大出版会、1996)

松田 磐余 (まつだ いわれ)

1939年生。1965年東京都立大学理学部地理学科卒業、69年東京都立大学大学院理学研究科地理学専攻博士課程中退。理学博士。現在、関東学院大学経済学部教授。専攻：災害論、応用地形学。主な著書：『地盤と震害—地域防災からのアプローチ』(共著、楨書店、1977)、『安政大地震—その日静岡県は』(共著、静岡新聞社、1983)、『東京湾の地形・地質と水』(共著、築地書館、1993)

間野 博 (まの ひろし)

1947年生。1970年京都大学建築学科卒業、72年京都大学大学院工学研究科建築学第二専攻修士課程修了。工学博士。現在、広島女子大学生活科学部生活環境学科教授。専攻：住環境整備。主な著書：『市街地整備の人間的方法』(共著、学芸出版社、1985)、『地域共生のまちづくり』(共著、学芸出版社、1998)

真野 洋介 (まの ようすけ)

1971年生。1995年早稲田大学理工学部建築学科卒業、97年早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程修了。現在、早稲田大学大学院理工学研究科博士課程在籍。日本学術振興会特別研究員。専攻：都市計画。著書：『同潤会のアパートメントとその時代』(共著、鹿島出版会、1998)

水口 俊典 (みずぐち としのり)

1942年神戸市に生まれ育つ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。71年(株)都市環境研究所入社。72年東京大学大学院博士課程単位取得退学。技術士、一級建築士、工学博士。現在、芝浦工業大学システム工学部環境システム学科教授。(株)都市環境研究所取締役。専攻：都市計画。主な著書：『都市政策の視点』(共著、学陽書房、1981)『協議型まちづくり』(共著、学芸出版社、1994)、『土地利用計画とまちづくり』(学芸出版社、1997)

三船 康道 (みつね やすみち)

1949年生。1973年千葉大学工学部建築学科卒業、1991年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了。工学博士、技術士(都市および地方計画)。1995~96年度新潟工科大学教授、現在(株)エコプラン代表取締役。専攻：都市計画、建築計画。主な著書：『地域・地区防災まちづくり』(オーム社、1995)、『わかりやすい建築計画の知識』(オーム社、1995)、『まちづくりキーワード事典』(編著、学芸出版社、1997)、『防災と市民ネットワーク』(学芸出版社、1998)、『歩いてみたい東京の坂(上・下)』(編著、地人書館、1998、1999)

宮西 悠司 (みやにし ゆうじ)

1944年横浜生まれ。1969年東京都立大学建築学科卒業後、神戸に移転。各地のまちづくり、近代建築の保存運動に携わる。住民主導型まちづくりを提唱し、まちづくり教の教祖となる。

村上 大和 (むらかみ ひろかず)

1972年生。1996弘前大学人文学部人文学科卒業、1998年東京都立大学都市科学研究科修士課程修了、現在、(株)まちづくり計画研究所研究員・都立大同科博士課程、専攻：都市社会学

室崎 益輝 (むろさき よしてる)

1944年生。1971年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程中退。工学博士。現在、神戸大学都市安全研究センター教授。専攻：都市防災・建築防火。主な著書：『地域計画と防火』(勁草書房、1981)、『建築防災・安全』(鹿島出版会、1998)、『大震災以降』(共著、岩波書店、1998)

森反 章夫 (もりたん あきお)

1952年鳥取県生。東京大学大学院社会学研究科社会学博士課程満期退学。東京経済大学経営学部助教授。専攻：都市・住宅の社会学的分析。主な論文：「系譜と所有」(見田宗介編『文化と現代社会』東京大学出版会所収)「神戸市住宅政策の分析」(運実音彦編『都市政策と地域形成』東京大学出版会所収)、「都市集住の「公共性」の分岐点」(『保健婦雑誌』vol. 53-4)「住宅復興における「公共性」の機能と可能性」(『日本不動産学会誌』vol. 12-2)、「復興まちづくり協議会の実践の社

会的可能性」(『住まいとまち』No.94)

山岡 義典(やまおか よしのり)

1941年生。中国の東北部(当時の満州)生れ。広島で育ち東京の大学で建築を学ぶ。大学院で都市計画を専攻の後、都市計画設計研究所、トヨタ財団を経てフリーに。1996年関係者や友人と日本NPOセンターを設立、常務理事・事務局長に就任現在に至る。長谷工総合研究所顧問、日本福祉大学客員教授などを兼務。主な著書(共著・編著):『日本の財団』、『日本の企業家と社会文化事業』、『フィランソロピーと社会』、『パブリックアートは幸せか』、『NPO基礎講座』

山崎 文雄(やまざき ふみお)

1953年生。1976年東京大学土木工学科卒業、78年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。工学博士。一級土木施工管理技師。一級建築士。現在、東京大学生産技術研究所助教授、理化学研究所地震防災フロンティア研究センターチームリーダー(兼任)。専攻:地震動、都市防災、ライフライン、地震工学。主な著書:『地震と産業被害』(日本損害保険協会、1994)

吉川 仁(よしかわ じん)

1947年生。1971年東京大学工学部都市工学科卒業、75年同大学院修士課程修了。現在、(株)防災アンド都市づくり計画室主宰。技術士、再開発プランナー。都立大院・芝工大講師。専攻:防災都市計画・まちづくり・まち遊び。主な著書:『ウォーターフロント—開発と防災』(共著、山海堂、1990)、『居住環境整備の手法』(共著、彰国社、1989)、『火災便覧第3版』(共著、共立出版、1997)、『造景』14号「東京の防災都市づくり」(共著、建築資料研究社、1998)

渡辺 実(わたなべ みのる)

1951年生。1974年工学院大学工学部建築学科卒業。現在、(株)まちづくり計画研究所代表取締役所長、技術士。専攻:都市計画、地域計画、都市防災計画、地域防災計画、災害情報、災害ボランティア。主な著書:『震災そのとぎのために』(共著・監修、国会資料編集会)『FEMAに学ぶ災害時の危機管理』(訳著・監修、近代消防社)『都市における総合的地下利用方策の研究』(共著、NIRA)等

社団法人 日本都市計画学会 防災・復興問題研究特別委員会
〒102-0082 東京都千代田区一番町10 一番町ウエストビル6F
TEL 03-3261-5407 / FAX 03-3261-1874

[R] <日本複写権センター委託出版物>
本書の全部または一部を無断で複写複製することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター（03-3401-2382）にご連絡ください。

安全と再生の都市づくり — 阪神・淡路大震災を越えて —

1999年2月10日 第1版 第1刷 発行

編著者 社団法人 日本都市計画学会
防災・復興問題研究特別委員会
発行者 京極迪宏
発行所 株式会社 学芸出版社
京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
〒600-8216 Tel (075) 343-0811
編集協力：南風舎
装丁：前田俊平
印刷：日本電植 / 製本：藤沢製本

©都市計画学会 防災・復興問題研究特別委員会 1999
Printed in Japan

ISBN4-7615-3076-6